

「令和6年度 第1回 長崎市中央卸売市場取引運営委員会」開催結果（議事録）

日 時	令和7年3月27日（木）午後2時～午後2時50分
場 所	長崎市中央卸売市場管理棟 2階会議室
議 題	<p>【報告事項】 1 中央卸売市場の概要 2 取引及び運営について</p>
	<p>令和6年度 第1回長崎市中央卸売市場取引運営委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席者 委員 13名 ・欠席者 委員 1名 ・開催形態 公開（傍聴者なし） <p>委員紹介</p> <p>正副委員長選出</p> <p>報告事項1 中央卸売市場の概要 事務局より説明。 【質疑応答…意見等 なし】</p> <p>報告事項2 取引及び運営について 事務局より説明。 【質疑応答…意見等（要旨）】</p> <p>（委員A） 経営戦略の内容について、令和6年度の取扱高の実績の見込みはあるのか。5ページの取扱高の推移のグラフを見ると、実績が急激な右肩下がりをしているが、令和6年度の状況はどうか。令和3年度に策定した経営戦略では、取扱高がなだらかに減少しているが、令和7年度の経営戦略の見直しでは、急激に減少するようになるのではないかと心配している。</p> <p>（事務局） 現在の経営戦略は令和3年3月に策定しており、コロナによる影響や卸売業者が2社あった状態で策定をしている。その時にわかっていた情報としては、長崎市の人口が減少し、市内の需要が減少していくというのは間違いないということで策定している。</p> <p>また、取扱高の数字については、長崎市内向けの取引だけではなく、仲卸業者や売買参加者の長崎市外や県外への取引高も含まれている。市外、県外の取扱いについては、卸売業者から今後のブロックリー事業の県外への販売計画の数値はいただいているが、仲卸業者等の今後の市外、県外への取扱いの数値までは把握できない。</p> <p>そういったところで、長崎市としては人口の減少率と卸売業者のブロックリー事業の県外への販売計画というところから、年々数量は減少していく形で計画をしていた。</p>

その後、コロナ渦であったり、卸売業者合併等の要因により減少しているのだと考えられるので、そのところは分析を行い、次回の取引運営委員会に示したいと考えている。

ちなみに、令和6年度はまだ3月分がわかっていないが、減少しているのは間違いない。

ただ、青果物の取引については天候の関係で生産量が多かったり少なかったりという要因もあるので、一概には言えないところもある。

分析を行い、次回お示しをさせていただきたい。

(委員A) わかりました。

(委員長) 人口減少以上に取扱高が減っているという課題を明確にして、次回の会議までにお示しするというところでよろしいか。

(事務局及び委員) 了承。

以上